

■ 原色版『山形風俗』はワットマン九ツ切。『緑色の流』はワットマン半切大にして、場處は信州上高地、穂高山の麓なり。

■『糸満の刳舟』はワットマン四ツ切大にして琉球の寫生。『飯坂』も四ツ切大にして、昨年五月故人が飯坂、鹽原方面に旅行せられし時の作品なり、本誌八十四號、飯坂と鹽原の旅行談を參照せられたし。

■ニコルソン氏は有名なる挿畫畫家にして、本號所載の『Coaching』は戸張孤雁氏の所藏せらるゝものなり。

■日本水彩畫會三月例會は三十一日開會、岡、永地、眞野氏出席出品點數六十六點、本誌所載河上左京氏作『女』はワットマン四ツ切大にして出品畫中の秀逸の一つなり、寫眞版不出來にて原畫の趣を失ひしは遺憾なり。

■次號には石川欽一郎氏の『風景』相田寅彦氏の『習作パンヂー』坂本繁次郎氏の『裏畑』故大下藤次郎氏の『遺作』を原色版

として掲載すべく、太平洋畫會出品畫、及び青木繁氏遺作を寫眞版として挿入の筈

■展覽會出品畫の原色版は製版間に合はざる爲、來月號に掲載出來ず追々掲載すべし。

■岩村透氏及び岡田三郎助氏の寄稿を本號に掲載のはづなりしが、締切の都合により鶴澤氏の『續三脚物語』服部氏の『繪畫美學』石川欽一郎氏の『調色について』並に山崎紫紅氏の『劇の背景等』と共に次號に掲載すべし。

■小林鐘吉氏山本森之助氏は今回本誌の賛助員たるを承諾せられ來月號より寄稿せらるる筈なり。

問に答ふ

■一、絶對的に陰影の部は透明色を用ひ日光等の直射せる部分は不透明色を用ふべきものにや。二、ニュートン製繪具に

SL、SO、NO、等の符號ありその意御教示下されたし。三、比較的變色又は褪色せざる緑色の繪具（單獨に又は混合

色に）を御教示下されたし（成節生）◎

一、否自然に其様な規定のあるべき筈なし、只比較的さういふ場合の方が多いといふに過ぎない、二、SDの符號のある色は、スペシヤル、リストの色で之は互に如何う交ぜ合せても變化も變色もせぬ事が保證されてあるものゝ由（八十四號石川欽一郎氏談）

二、美しき緑にてはビリジャン、くすみたる緑には、オリブグリーン等比較的不變色なり。

■一、水彩水貼縁貼紙を手製せんとす其方法を問ふ、二、遠近法を學ぶには如何なる事物が宜しきや適當の良書を御示し下され度し◎一、美紙或は礬水引等の紙を横に三四分位の巾に切ればよし、紙は摸造紙等にててもよし、二、小島憲之、川村孝共著、用器畫教科書透視圖法（三之卷）發賣所は京橋區南傳馬町二丁目目黒書店。

■一、洋畫を學ばんには研究所に入ると畫家の門生たるとは何れが宜ろしきや、二、日本水彩畫會研究所生徒男女數及び